



県政特集-1 杉並木保護

「日光杉並木クリーン作戦(清掃活動)」に参加した皆さん
「いつも車で通り過ぎてしまう道ですが、近くで見ると杉は大きく空気がきれい。気持ちがすっきりします」と感想を話してくれました。

**杉の生命を守るため
今、できることを**

県では、「日光杉並木」を県民の大切な財産として守り引き継いでいくため、様々な保護対策に取り組んでいます。

樹勢回復事業
平成十二・十三年度の二カ年間にわたって並木杉の樹勢(衰退度)を調査し、一本一本ごとに五段階で評価しました。この調査結果に基づいて、最も衰退がすすんでいる箇所を優先しながら、弱った杉の

**生育環境の悪化で
衰退する杉並木**

「日光杉並木」は、三十七キロメートルにもおよぶ杉の巨木が連なる壮大な並木道。日本で唯一、国の特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化遺産です。昭和三十六年の調査では、一万六千五百本あった杉も今では一万三千本までに減少。年間約百本もの杉が枯れている現状にあります。

台風などの自然災害や杉の老齢化のほか、街道の交通量の増加や周辺の開発などによる生育環境の悪化が原因と考えられています。



樹勢回復事業「木柵工法」
街道沿いを木柵で土留め。露出した杉の根を堆肥を混ぜた土でおおい、新しい根の再生を図ります

回復を図る工事などをおこなっています。

隣接地の公有化
杉の根を乱開発から守り、将来にわたって杉の生育環境を保全していくことも重要です。県では、杉並木街道の両外側二十メートルまでを保護用地として指定し、民有地の取得をすすめています。

パイパスの整備
年々増え続ける排気ガスや振動は杉の生育に悪影響を及ぼしています。街道を通る車両を減少させるためにも、国道一九号(日光街道)と二一(例幣使街道)でパイパスの整備をすすめています。

**みんなの力で
杉並木を次の世代へ**

樹勢回復事業などの保護事業は、平成八年からスタートさせた「杉並木オーナー制度」の運用益金や寄附金で行われています。九月一日現在、六百一十一本の杉に四百八十七名のオーナーが誕生しています。寄附も、個人、企業、団体など県内外の様々な方から寄せられています。

また、保護用地の下草刈りや杉並木街道内の清掃活動(写真上)には、多くの皆さんにボランティアとしてご協力をいただいています。

◆杉並木オーナー制度◆



杉並木の保護に賛同された皆さんに並木杉を1本1千万円で購入していただき、その運用益金で、弱った杉の回復を図る事業を行う制度です。

購入された杉はオーナーの希望により、県がいつでも買い戻します。

あなたも、杉並木のオーナーになりませんか。なお、寄附も受け付けています。

県では、県民の皆さんに杉並木のすばらしさと保護の必要性を知っていただき、一緒に次の世代へと守り継いでいきたいと考えています。

栃木県が世界に誇る「日光杉並木」。今市市にある杉並木公園付近では街道内をゆつくりと散策することもできます。

皆さんも杉並木に触れ、そのすばらしさを肌で感じてみませんか。

◇問合せ
県教育委員会文化財課
TEL 028-623-3134

TOCHIGI
県民だより
9
2002
月号
編集・発行 栃木県広報課
平成14年9月15日発行

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [8月1日現在]
2,009,634人(前月比 +951人、前年同月比+1,712人)
◎男997,930人 ◎女1,011,704人 ◎世帯数685,722世帯

**みんなで守ろう
「日光杉並木街道」
世界に誇る文化遺産**

三百七十年もの歴史をもつ「日光杉並木街道」。世界一長い並木道としてギネスブックにも認定されています。県では、この貴重な文化遺産「日光杉並木街道」の保護対策に積極的に取り組んでいます。



◆日光杉並木街道メモ◆

日光杉並木街道は、日光街道、例幣使街道、会津西街道の3つの街道からなります。

徳川家康・秀忠・家光の3代に仕えた忠臣・松平正綱とその子正信によって、20数年の歳月をかけて植栽され、日光東照宮に寄進されました。

370年もの歴史を刻んだ杉は高さ30mを超え、神秘的な景観をつくりだしています。

日光杉並木保護シンボルマーク

いつまでも笑顔で！ 高齢者の皆さんの元気を応援します

二〇二〇年には、県民の四人に一人が六十五歳以上の高齢者になると予測されています。「住み慣れた地域で自立した生活をおくりたい」「健康で生きがいをもって暮らしたい」。高齢者の皆さんの願いを実現することが重要な課題となっています。

県では、介護が必要な状況になることを防ぐ「介護予防」、自立した生活を確保するための「生活支援」など、市町村が実施する取り組みを支援しています。

笑顔とともに、仲間が広がります



学童保育の子どもたちと一緒に合唱
近くの老人ホームで歌を発表することを目標に練習しています



村松七郎さん

ここで趣味の竹細工の楽しさを子どもたちにも伝えたいねえ。



(左から)二戸子ヨ子さん、山口光子さん、齋沢正子さん、長島徳子さん

ここに来ておしゃべりしているだけで楽しいし、気持ち明るくなります。

高齢者が閉じこもらずに地域で集まり交流する「はつらつセンター」の整備がすすんでいます。

矢板市の「泉はつらつ館」は、閉鎖された診療所を改修したもので、二階には学童保育館も併設、四月にオープンしました。休日を除く毎日、お年寄りの元氣な笑顔が集まります。おしゃべりをしたり、時には歌や踊りを楽しんだり。新たな仲間や楽しみにも出会えます。「はつらつセンター」から笑顔の輪が広がっています。

健康で長生きするために

介護予防教室 田沼町



輪投げもバランスをとる運動
楽しみながら競います

田沼町では、「介護予防教室」を四地区で開いています。取材した飛駒地区の教室では、体を動かしたりレクリエーションをしたりと、楽しみながら機能訓練をおこなっていました。

このほか、介護予防教室では転倒骨折予防の指導も。高齢者の皆さんの健康づくりをサポートします。

普段から意識して体を動かしています。昨年は転倒予防教室に参加しましたが、体力測定の結果もよくなりました。



岡村弘さん



大小さまざまなボールを回します



講師を務める保健師
手塚美砂江さん(写真中央)

町では年々教室を増やしています。教室を通して楽しみを増やすなど、前向きに生活をおくってほしいですね。

手から手へ。家庭の味を心をこめて

配食サービス 葛生町

ひとり暮らしの高齢者などにお弁当を届ける「配食サービス」が各地で行われています。

町民の三割近くが六十五歳以上という葛生町では、毎週金曜日、百人のお年寄りに昼食を宅配しています。お弁当を作るのは二十七グループ、



田辺子ヨさん

温かいお弁当は本当にありがたいですよ。それに、若い人と話ができることがうれしいです。

昔の話も楽しそうに聞いてくれます。毎週この日を楽しみにしています。

三百四十名の給食ボランティアの皆さん。作ったお弁当は、配食ボランティアの手をへて民生委員が各家庭に届けます。「家族の一員のような気持ちですよ」と話すのは民生委員の高島ヤスさん。配達には昨年からは、近くの葛生高校の生徒十二人もボランティアで協力しています。

少しでも役に立てればと思いい、お弁当づくりをしています。ご飯は柔らかいめに、おかずはうす味、揚げ物は少なめに。主婦だからこそ家庭の味を大切にしています。



川田美奈子さん



お弁当は彩りよくボランティアからのメッセージを添えて

サービスを利用して、いきいきとした暮らしを

高齢者の皆さんが住み慣れた地域でいきいきとした生活をおくれるように、市町村では地域の実情に応じ、このほかにも外出支援や布団の洗濯など、さまざまなサービスをおこなっています。

また、「こんなサービスがほしい」「こんなことに困っている」など、さまざまなご相談にも応じています。ご相談は、お住まいの市町村高齢福祉担当課またはお近くの在宅介護支援センターへ。お気軽にご利用ください。

いつまでも健康で元氣な毎日をおくるために、皆さんも上手にサービスを利用してみませんか。

ご活用ください
在宅介護支援センター

センターは現在百三十二カ所。二十四時間体制で、ご本人やご家族からの相談を受け付けています。相談は無料。秘密は厳守します。また、ほとんどのセンターには福祉用具の展示もしてあります。



南那須町の在宅介護支援センター。「まずは皆さんの気持ちを聞かせてほしい」と職員の高野さんは言います

◇問合せ 県高齢対策課
TEL 028-623-1304

一口モ

ダメ。ゼッタイ。

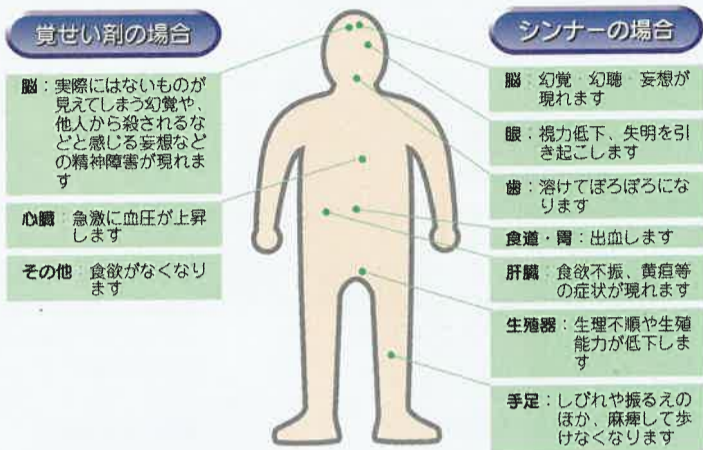
薬物乱用にNo!

本県の覚せい剤事犯による検挙者数は353人(平成13年)。そのうち未成年者が約1割を占めるなど、薬物乱用者の低年齢化が目立ってきています。インターネットや携帯電話などの普及により薬物が手に入りやすくなるなど、薬物の魔の手は私たちのすぐ近くまで広がっています。

薬物乱用はこんなに危険!

あなたの心と体をボロボロに...

覚せい剤やシンナーを乱用すると、脳や内臓などが冒され精神や身体に様々な障害が現れます。また、一度に大量に乱用すると急性中毒で死に至ることもあるのです。



自分ではやめられない、そして...

薬物はその効果が無くなるとイライラして落ち着かなくなり、また薬物が欲しくなる性質を持っています。その欲求は自分の意志では制御できなくなるほど強く、

快感を得るために使用する薬物の量もどんどん増えていってしまいます。

幻覚や幻聴、妄想が現れて他人をいきなり襲ってしまったり、薬物を手に入れるために盗みやゆすりなどの事件を引き起こしてしまったり、まわりの人たちにおよぼす危害も大きいのです。

薬物乱用は重大な犯罪です!

- 覚せい剤の所持・使用 10年以下の懲役
- シンナー等の吸引・所持 1年以下の懲役 もしくは50万円以下の罰金

◆薬物乱用とは? 医薬品を医療目的以外で使用したり、医療目的のない薬物を不正に使用することをいいます。一度の使用でも「乱用」になります。

す。代表的なものは、覚せい剤、モルヒネ、コカイン、シンナー、大麻、ヘロインなど。これらの薬品は別名でも呼ばれており、例えば、覚せい剤は「エス」「スピード」「シヤブ」などとも呼ばれています。



ダメ。ゼッタイ。

10月・11月は麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間です

勇気を持って「ノー」と言おう!

薬物乱用への誘惑はいたるところに存在しています。同級生や先輩、遊び友達から「やせられる」「疲れがとれる」などとすすめられ、いつの間にか薬物を乱用してしまっている若者も少なくありません。

「みんなが使っているから」「1回くらいなら大丈夫」とか、ちょっとした好奇心や興味本位で手を出すことは絶対にやめましょう。とりかえしのつかないことになります。そして、言葉巧みに誘われても拒否できる勇気を持ちましょう。



こんな言葉にだまされないで!

- ダイエットに効果があるよ
- 眠気がとれて勉強ができるよ
- 最高の気分が味わえるよ
- お金はこの次でいいよ

ひとりで悩まず、まず相談!

薬物乱用は、ふとしたきっかけから始まってしまいます。早期発見、早期治療が大切です。

県では薬物相談電話や窓口を設置し、薬物に関する様々な相談を受け付けています。また、今年5月からは専門医師等による薬物相談も開始しました。

「薬物を止めたい(止めさせたい)」「もしかして薬物乱用では?」など、どんなことでもお気軽にご相談ください。どなたでもご利用いただけます。



薬物に関する相談はこちらへ!

- ◆薬物相談電話(県業務課) ☎028-623-3779
- ◆薬物相談窓口
 - 宇都宮市保健所 ☎028-626-1104
 - 県西健康福祉センター(鹿沼市) ☎0289-64-3029
 - 県東 " (真岡市) ☎0285-83-7220
 - 県南 " (小山市) ☎0285-22-6119
 - 県北 " (大田原市) ☎0287-22-2364
 - 安足 " (足利市) ☎0284-41-5897
- ◆専門医師等による薬物相談
 - 毎月第3火曜日午後2時~4時 (※予約の上ご利用ください)
 - 県精神保健福祉センター ☎028-673-8785

◇問合せ 県業務課 ☎028-623-3119

県政トピックス

Topics 1 リズムスクール 練習会

渡辺貞夫さんが県内の中学生を直接指導する「リズムスクール」の地域別練習会が八月十二日と十三日に行われました。今年度は馬頭町(馬頭中・馬頭東中)、宇都宮市(泉が丘中)、鹿沼市(北中)で実施。子どもたちは全員でリズムをとりながら、渡辺さんが作曲した「黒い瞳」などを練習しました。



馬頭町での練習の様子。10月と11月にはオリオン通りで3地域の合同練習会を開催する予定です

Topics 2 全国の農業青年が本県で交流

八月二十八日から三十日まで「第十四回全国農業青年交換大会」が、皇太子同妃両殿下ご臨席のもと開催されました。この大会は全国の農業青年が集まり、知識・技術の交換や交流を図ることを目的に毎年開催されています。大会では「夢」をテーマに、演説発表、体験交流会、現地交流会などを行いました。



宇都宮市文化会館での開会式。全国から約1,000人の農業青年が集まりました

Topics 3 鹿沼市で総合防災訓練

「防災の日」の九月二日、栃木県と鹿沼市共催の総合防災訓練が鹿沼市の黒川緑地公園で行われました。訓練には県・市警察・消防・自衛隊など七十機関、約千三百名が参加しました。

この日は県西部を震源とする直下型地震と台風による風水害を想定。初期消火訓練や避難訓練、救助犬による捜索訓練、ライフライン復旧訓練などが行われました。



警察、消防、自衛隊合同の捜索・救助訓練。本番さながらに訓練を行いました

分度推議立県

―分度推議による「まちづくり」―

まちづくりと分度推議

私スポーツをするのも見るのも大好きだが、五月から六月の三十一日間にわたるワールドカップサッカーの会場となった静岡県のスタジアム「エコパ」

つて熱戦が繰り広げられたサッカーワールドカップ大会にあらためてスポーツの素晴らしさを感じたものである。なかでも事実上の決勝戦と言われたイングランド対ブラジル戦は多くの県民の皆さんが楽しまれたのではないだろうか。その試合会場となった静岡県の「エコパ」スタジアム。掛川市と袋井市にまたがるスタジアムだが、その掛川市は、先進的なまちづくりで全国的に有名である。

掛川市では、市民募金によ



ワールドカップサッカーの会場となった静岡県のスタジアム「エコパ」

り、インターチェンジや新幹線新駅の設置、掛川城復元などを行ったが、それを実現したのが市民への市長からの呼びかけであった。―自分のまちをよくするために、お金を出せる人はお金、汗(努力)を出せる人は汗、知恵を出せる人は知恵を、土地を出せる人は土地を、それらが出せない人は合意形成協力の力を、自分で出せるものを是非出して下さい―まさに推議の心と呼びかけ、それに市民が応えた結果が、すばらしいまちづくりに繋がった。県内各地でも分度推議の心に溢れたまちづくりが進むことを大いに期待する。

(栃木県知事 福田昭夫)

※分度推議立県の考え方の詳しい説明は、県のホームページでご覧になれます



ソバの花(タデ科)

畑一面にカミソウのように咲くさまは、ほかの植物が薄茶色に変わっていく中では貴重。ミツバたちもこの花が大好きで、薄紫色のハチミツはほんのりとソバの香りがして美味です。

ウォッチングポイント

日光 今市・鹿沼・栗野など河川が広がる扇状地で多く栽培されています。花期は9月下旬まで。



森の集い「しっとり秋の花」

- 植物を観察しながら名前や見分け方などを学びます
- 10月2日(水)午前9時～
- 定員 先着30名 ※参加無料
- 応募締切 9月25日(水)
- 問合せ 県民の森管理事務所 矢板市長井2927 ☎0287-43-0479

太郎山に登ろう!

- 自然解説員と一緒に、日光の隠れた名山・太郎山に登ります。健脚向き
- ①10月3日(木) ②10月4日(金)
- 参加費 大人500円、子ども450円
- 定員 各10名
- 応募締切 9月21日(土)
- 問合せ 日光自然博物館 日光市中宮祠2480-1 ☎0288-55-0880

農業農村・体験バスツアー

～食と農の郷とちぎウィーク行事～

- 県内各地の農家や直売所、農村レストランなどをめぐり、食や農業への理解を深めます(県内6コース)
- ①10月19日(土) ②10月20日(日)
- 参加費 大人2,000円、子ども1,000円
- 定員 6コースあわせて200名程度
- 応募締切 10月4日(金)
- 問合せ 県農政課 ☎028-623-2284

県営都市公園スタンプラリー

- 9つの公園のうち、5つの公園のスタンプを集めてください。抽選で素敵な賞品が当たります
- 期間 11月30日(土)まで
- 問合せ 財団法人県民公園福祉協会 ☎028-659-5968

県民ゴルフ場オープン10周年

- 鬼怒川のせせらぎと日光連山の展望を楽しみながら、気持ちよい汗を流してみませんか
- 9月30日まで、下記の特別料金でご利用いただけます
- 平日5,900円、休日8,900円 ※昼食 乗用カート付き
- 問合せ 県民ゴルフ場(高根沢町) ☎028-675-7211

文化情報 子ども総合科学館
宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555


文化情報 県立美術館
宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

文化情報 県立博物館
宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

文化情報 県総合文化センター
宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- プラネタリアム新番組「年少向け番組「モチモチの木」」一般向け番組「The EXPLORERS of MAUNAKEA」
- プラネタリアム特別番組「星空さんぽ」9月21日(土)午後3時～
- 秋の星座の探し方とお月見のはなし
- 科学館プレイタイム「いけ!いけ!ウォーターバトル」9月21日(土)・28日(土)①午前10時～②午後1時～
- 水鉄砲を使ったゲームであそぼう
- パラエティサイエンス 9月28日(土)・29日(日) ●簡単な工作をやってみよう
- 星をみる会 10月5日(土)午後7時～ ●ペガサス座をさがそう
- おはなしすいようび 毎週水曜日(9月25日を除く) ●絵本の読み聞かせ

●常設展「よみがえる!1970年代」10月20日(日)まで ●県立美術館が開館(1972年)した70年代、高度経済成長とともに、文化や社会が大きく変化しました。今となっては懐かしい、けれどどこか新鮮で元気な70年代の美術を特集します



●第56回栃木県芸術祭美術展「洋画・彫刻・工芸」9月28日(土)～10月10日(木)

●テーマ展「栃木の山のくらし」10月6日(日)まで ●山間部の人々の暮らしを、炭焼きの道具や狩猟の道具などを通して紹介します

●テーマ展「谷文晁・高久露屋とその弟子たち」10月6日(日)まで ●江戸時代の文人画家、谷文晁とその妻幹々や弟子の高久露屋などの作品を展示します

●講座「栃木の民話語り」9月29日(日)午後1時30分～3時30分 ●定員100名 ●電話申込み

●とちぎ舞台芸術アカデミー2002【音楽部門】新進音楽家演奏会 第7回コンサート・マロニエ21オーディション ●9月19日(木)・20日(金) 弦楽器部門(ヴァイオリン、チェロ、コントラバス)、9月21日(土)・22日(日) 声楽部門 ●入場無料 ●コンサートマロニエ21料 ●全国の新進気鋭の音楽家たち(事前審査合格者)が本選出場をめざします

●劇団四季フレンチミュージカル「壁抜け男」～恋するモンマルトル～ 10月6日(日)午後6時30分開演 ●チケット発売中(S席は完売)

栃木県のお知らせ

催し

- 「デザインの日」記念イベント
 - 10月1日(火)午前11時～午後5時 ●県南地域地場産業振興センター(足利市) ●講演会、ブランド品の本物・にせ物の展示、無料発明相談ほか
 - 県工業課 ☎028-623-3249
- とちぎ木の県推進大会・講演会
 - 10月5日(土)午後1時30分～3時30分 ●栃木会館(宇都宮市) ●講演「美しい日本の暮らし」浜美枝さん(女優) ●定員 先着400名 ●参加無料 ●申込方法 10月2日(水)までに電話、ハガキ、FAXで
 - 栃木県木材需要拡大協議会(宇都宮市新里町丁277-1) ☎028-652-3687、FAX ☎028-652-1046
- 県民の森(矢板市) ●ヒノキの間伐や枝打ち、木工教室ほか
 - 定員 先着100名 ●参加無料 ●申込締切 9月30日(月) ●県造林課 ☎028-623-3297
- なす風土記の丘資料館第10回企画展
 - 「栃木の遺跡」～最近の発掘調査の成果から～ ●9月27日(金)～11月4日(月) ●同館湯津上館 ●10月13日(日)午後1時30分から、小川町ふるさと館で記念講演会を行います
 - 同館小川館 ☎0287-96-3366

募集

- 知事と話し合ってみませんか
「とちぎふるさとづくりフォーラム」参加者募集
- くらしのこと、福祉のこと、これからのとちぎのこと、どんな話題でも結構です。お気軽にご参加ください ●10月19日(土)午後1時30分～ ●会場 プラザインくろかみ(宇都宮市) ●対象 県内に在住、通勤・通学している満18歳以上の方 ●申込み 住所・氏名・年齢・電話番号・性別・職業(学校名)・託児希望の有無を電話、ハガキ、FAX、Eメールで ●応募締切 10月7日(月)消印有効 ※応募多数の場合は抽選
- 県広報課(〒320-8501) ※住所記入不要) ☎028-623-2158、FAX ☎028-623-2160、E kkocho@pref.tochigi.jp

- 「紅葉の」国会等移転「那須地域」見学会
- ①10月19日(土)午前9時 県塩谷庁舎(矢板市)、午

前9時30分 県那須庁舎(大田原市) 出発 ●10月26日(土)午前8時30分 県小山庁舎 出発 ●10月27日(日)午前9時 県庁出発 ●見学先 那須野が原公園、なかがわ水遊園ほか ●参加費 大人1,000円、子ども800円 ●定員 各回40名 ●応募方法 希望日・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、ハガキ、FAXで ●応募締切 ①10月4日(金)、②③10月11日(金) 消印有効 ●栃木県国会等移転促進県民会議事務局(〒320-8501) ※住所記入不要) ☎028-623-3496、FAX ☎028-650-2045

- 県立少年自然の家等の催し
 - 申込み・問合せは各施設へ
 - 【南那須少年自然の家 ☎0287-88-9341】
 - ◎まるごと体験 四季の森まつり ●10月6日(日)午前9時～午後3時 ●宝さがし、ピザ・栗まんじゅうづくりほか ●定員 先着150名 ●参加費 100円(材料費は別途) ●応募締切 9月30日(月)
 - 【高原山少年自然の家 ☎0287-44-1581】
 - ◎秋の高原山と星を見るつどい ●10月26日(土)～27日(日) 1泊2日 ●ウォークラリー、天体観望、創作活動など ●対象 小・中学生とその保護者または星に興味のある方 ●定員 先着60名 ●参加費 大人4,160円、中学生3,630円、小学生2,930円 ●応募締切 10月12日(土)
 - 【今市少年自然の家 ☎0288-21-7224】
 - ◎親子DE/ハイク ●10月19日(土)～20日(日) 1泊2日 ●ハイキング、登山用スティックづくりほか ●対象 小・中学生とその保護者 ●定員 先着100名 ●参加費 大人6,200円、中学生5,600円、小学生5,400円 ●応募締切 10月5日(土)
 - 【太平少年自然の家 ☎0282-24-8551】
 - ◎わんぱくわくわく探検隊・秋の陣 ●10月26日(土)
 - クラフト活動、おみこづくりほか ●対象 小学3年生～高校生 ●定員 先着50名 ●参加費 1,500円 ●応募締切 10月10日(木)

講座

- 仕事と家庭の応援セミナー
 - 10月11日(金)午後1時30分～3時30分 ●県足利庁舎 ●講演「仕事と子育ての楽しみ方」石坂啓さん(漫画家) ●定員 先着150名 ●受講無料 ●申込締切 9月30日(月)
 - 県足利労政事務所 ☎0284-41-1241
- 職場内研修リーダー養成講座
 - 10月15日(火)午前10時～午後4時 ●栃木県産業会館(宇都宮市) ●テーマ 人材育成の基本と効果的なOJTの進め方～コーチングで人が育つ～ ●対象 県内企業の経営者、従業員等 ●定員 先着50名 ●受講料 3,000円 ●申込締切 10月1日(火)
 - 財団法人県産業振興センター ☎028-637-3787
- 消防用設備等の工事又は整備に関する講習
 - 消火設備講習10月15日(火)、警報設備講習10月16日(水)、避難設備・消火器講習10月17日(木) ●対

象 消防設備士 ●受講料 7,000円 ●申込締切 10月4日(金)

●財団法人県消防設備保安協会 ☎028-625-4611

- バルティ(とちぎ女性センター)の講座
 - 男女共同参画セミナー公開講座 ●11月16日(土)午後1時30分～3時 ●講演「自立する家族～『私』を主語にして生きる～」海原純子さん(医学博士)
 - 定員 400名 ●受講無料 ●申込締切 10月30日(水) 必着 ●同センター ☎028-665-7706

- 建設業者講習会
 - ①10月2日(水)那須野が原ハーモニーホール(大田原市) ●②10月11日(金)県総合文化センター(宇都宮市) ●③10月16日(水)おおひら町民ホール、時間はいずれも午後2時～3時30分 ●平成15・16年度県入札参加資格審査申請、労働災害防止について他 ●当日直接会場へ ●県監理課 ☎028-623-2390

案内

- 勤労者向け制度融資をご利用ください
 - ◎勤労者生活資金 ●勤労者のための生活資金貸し付け(年利1.4～2.4%) ●育児・介護休業資金 ●育児・介護休業取得者のための生活資金貸し付け(年利1.9%) ●労働者福利資金 ●貸金、夏季・年末一時金の運込の代替資金貸し付け(年利2.1%)
 - 県労政課 ☎028-623-3218
- 高齢者とご家族のための総合相談のご案内
 - ◎一般相談 ●月～金曜日午前9時～午後4時 ●相談員によるよろず相談、介護相談、就業相談
 - ◎専門相談 ●各種専門家による医療・健康、痴呆、住宅、年金・保険、法律、税務などの相談 ●日程など詳細はお問い合わせください
 - ◎移動法律相談 ●弁護士による法律相談を栃木市と矢板市で実施しています ●日程など詳細はお問い合わせください
 - 相談は無料です ●電話・来所・手紙でご相談ください ●一般相談以外は予約制です
 - 栃木県高齢者総合相談センター(とちぎ健康の森内) ☎028-627-1122

県庁内の樹木移植工事が始まります

県庁舎の建て替え工事に伴い、県庁構内にある樹木の移植工事が11月頃から順次開始されます。樹形・樹勢の優れた樹木は、構外に移植されますが、建て替え工完了後に再び県庁内に戻されます。それ以外の樹木も、現在宇都宮市内に建設中の工業技術センター内へ移植する予定です。

◇問合せ 県庁舎整備室 ☎028-623-2083

information とちぎテレビ 県の広報番組

バイク屋のおかみさんは元教師。バイクを通して、若者たちに「生きる力」を教えたいと語る...

9/22 「とちぎ情報局」から

クローズアップとちぎ

- 毎週土曜日 9:00～9:30
- (再)月曜日 22:00～22:30

県政アワー

- 毎週日曜日 18:05～18:30
- (再)月曜日 12:10～12:35

とちぎ情報局

- 毎週日曜日 9:00～9:45
- (再)木曜日 22:00～22:45

とちぎかわら版

- 月～金曜日 8:10～12:05～21:55～